



令和2年度 第8号 令和2年11月10日

鶴 星

阿久根市立鶴川内中学校

校 訓

スクールコンセプト

ともに**夢**と**希望**を育む鶴川内中

協 自 自
調 律 主

一 校 一 風

育てよう**花**と**心**と大きな**夢**を

校長室の窓から 県民週間，文化祭，年末へ

校長 中山 武広

本県では、毎年11月1日～7日の期間を「地域が育む『かごしまの教育』県民週間」として、当該期間を含む前後3週間の期間に県下の各学校において多彩な行事等を行い、児童生徒の姿を通して教育活動の様子を広く地域に公開しています。

今年度、本校においては、11月1日～6日（祝祭日・休日を除く）をフリー参観期間として設定しました。とは申せ、新型コロナウイルス感染防止を考慮せざるを得ない状況が続いているため、一通りの周知にとどめ、積極的な広報は控えたところでした。そのせいか本年度の来校者数は決して多くはありませんでしたが、ご来校の皆様にはマスク着用等にご協力を賜りつつ、本校教育活動の一端を生徒の成長の姿を通して間近にご覧いただくことができました。各位に深く感謝申し上げます。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

本年度の文化祭は、県民週間の初日の11月1日(日)に実施しました。できるだけ多くの皆様にご来場いただけるように日曜日開催にしているところですが、こちらもコロナ感染防止のために入場者を制限せざるを得なく、心苦しくもご来賓や地域の皆様にはご来場をご遠慮いただくこととなりました。

当日は、保護者の方々が見守る中、オープニングからフィナーレまで、楽しくて感動いっぱい時間があっという間に過ぎた感じでした。「弁論」「英語暗唱」「カスミクラブ活動発表」「各学年の合唱」「各学年の劇」「全体合唱」「展示発表」等々、すべてにわたって、「時間をかけた準備」「時間をかけた練習」の成果が存分に発揮されていたと思います。体育大会のときは生徒全員が一つの大きなかたまりとなって躍動している光景が印象的でしたが、文化祭では、一人一人のがんばりやそれぞれの素敵な表情がとてもよく見えて、一人一人が演じる「静と動」に見入ってしまい、聞き入ってしまう、そんな感動を覚えました。同時に、「学びと笑顔と感動いっぱいのこの光景を、地域の皆様にもご覧いただきたかったなあ」と、大変もったいなく思うことでした。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

「体育大会」「文化祭」などの大きな行事を終え、2学期も終盤、改めてここからを学力の充実期にしたいと考えます。学期末・年末に向け慌ただしさが増してきますが、時々刻々を大切に、各学年とも現学年で身に付ける力をしっかりと培うことを願います。

なお、冬場を迎え、全国的にコロナ感染者数が増加の傾向です。警戒レベルの意識を高く持ち、家庭・地域とも連携を強化して感染拡大防止に努めたいと存じます。

行事予定

月	日	曜	11月後半～12月の主な行事
11	14	土	地域ボランティア活動
	18	水	SC来校
	19	木	部活動停止(～25)
	20	金	グリーントイム
	24	火	期末テスト(～26) 三者面談(3年)
	26	木	健康教室・保健委員会
12	30	月	生徒会引継式
	1	火	安全点検日 人権週間(～11)
	3	木	校内持久走大会試走
	7	月	生徒集会・3年保育実習
	9	水	学力検査～10日
	12	土	校内持久走大会 学級PTA
	13	日	門松づくり(8:00～)
	14	月	全校朝会
	17	木	健康教室(2年)
	21	月	生徒集会
	24	木	終業式
	25	金	第2回市中学生会議
28	月	仕事納め	

不審者対策教室(裏面参照)で、近隣においても出店荒らし等発生しており、不審者等見かけたら、すぐに110番するようにとのことです。戸締り等十分にご注意ください。

努力目標

生徒会活動に進んで取り組もう。

一事徹底

時間いっぱい朝ボランティア・清掃をしよう。

地区中体連新人大会

10月14(水)・15日(木)
団体戦・個人戦がありました。



本校男子ソフトテニス部が「準優勝」の素晴らしい成績。何より、男女ともに全員の大会までの取組が素晴らしかったです。部活動でさらに生きる力を育てます。今後も男女ソフトテニス部への応援をお願いします。

DAC 冒険教室

10月26日(月)
起業・冒険家に来ていただきました。



DAC ホールディングス代表の石川和則さんと犬ゾリによる世界初の南極横断を達成した舟津圭三さんに来ていただきました。これまでの冒険体験を基に、失敗を恐れず挑戦すること、身近な人や友達、感謝の心の大切さを講話くださいました。11/3(火)付の南日本新聞にも記事が掲載されました。

11月1日(日)
テーマ「笑・和・輪」～One Team～

本校の目指す生徒像が舞台に、そして、それまでのプロセスの随所に見ることができた文化祭。

戦争の悲惨さ、辛さを抱え生きる強さ、人生の正解を求めて生きる大切さをもって笑・和・輪を求めていく文化を劇や合唱、展示等で表現しました。締めくくりとして、芸術鑑賞会で、4人の演奏家に来ていただきました。

文化祭・芸術鑑賞会



★もっとすごいもう1つの58秒台 水泳選手 北島 康介
北京オリンピックで北島康介選手が100M平泳ぎ決勝で出した前人未達の58秒91という世界新記録。「前人未達」の意味は今まで誰も足を踏み入れていない。誰もその境地に到達していないこと。人類が100M平泳ぎで59秒の壁を破ったのは初めてのことだ。

さて、あまり知られていないが、北島選手にはもうひとつの58秒台のすばらしい記録がある。それは男子200M平泳ぎで金メダルを取った3日後に行われた、男子4×100Mメドレーリレーで銅メダルを獲得した時の記録だ。このとき北島選手は第2泳者で登場し、なんと57秒台に迫る58秒07のタイムで泳いでいるのだ。自分の持つ世界記録を大きく上回るとつもなく偉大な記録である。この隠れた大記録に2つの理由を考えた。1つめは、『金メダルをとらないといけないう重圧から解放されてのびのびと泳げたから生まれた記録。』2つめは、『チームの一員としての責任感・連帯感といったものが後押しして生まれた記録。』

前人未達という領域で戦うということは、戦う相手すらいな孤独な「自分自身との戦い」になる。しかし、この記録を出した時、少なくとも孤独な戦いではなかったのではないかと。チームとして共に戦う仲間が存在が大きな力になる証ではないか。人は己のためよりも支えてくれる誰かのために力を出す方がより多くの力を発揮できる証かもしれない。

そう考えると、毎日、合唱や授業ができる君は幸せだ。なぜなら、共に同じ場所で過ごし、授業を受け、食事をし、掃除をしている仲間がそこにいるからだ。今まで支えてくれた人々の顔を思い浮かべたらまだやれるはず！「仲間や観てくださる方のため」ががんばれる力の源。

不審者対策教室

11月5日(木)
不審者への対策を行いましょ。



阿久根警察署の方を講師に、不審者対策について学習しました。

いつでもどこでも誰にでも大きな声で挨拶を行い、不審者や声掛けに遭った場合、迷わず、すぐに110番通報を行うようにしましょう。

